



平成 28 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 東洋製罐グループホールディングス株式会社
代表者名 取締役社長 中井 隆夫
(コード番号 5901 東証第一部)
問合せ先 総務部長 小笠原 宏喜
(TEL 03-4514-2001)

東洋製罐グループ中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、2016 年度から 2018 年度まで（平成 29 年 3 月期から平成 31 年 3 月期まで）の 3 カ年の「東洋製罐グループ第四次中期経営計画」を策定いたしましたので、その概要についてお知らせいたします。

なお、平成 28 年 4 月 25 日付で公表いたしました「東洋製罐グループホールディングス株式会社とホッカンホールディングス株式会社の経営統合に関する基本合意書締結のお知らせ」に関しまして、当社とホッカンホールディングス株式会社との経営統合により見込まれる効果は、本計画には含めておりません。今後、両社の経営統合が実現することとなった際には、必要に応じて本計画の見直しを行います。

1. グループ 10 年ビジョンと前中期経営計画の振り返り

包装容器の国内における市場規模拡大が見込まれないと予想されるなか、お得意先における飲料用ペットボトルの自社製造が拡大するなど、国内の容器製造会社の事業環境は厳しさを増しております。

このような事業環境下において当社グループは、2013 年 4 月にグループ連携強化を目的として移行した持株会社体制のもと、「容器をコアとして周辺分野へ発展したグローバル企業への成長」をグループが目指す姿として掲げた中長期成長ビジョン「Growing 2022」を設けるとともに、2013 年度から 2015 年度までの「東洋製罐グループ第三次中期経営計画」を策定し、実行してまいりました。

第三次中期経営計画期間においては、Stolle Machinery Company, LLC の業績伸張、海外事業拠点の拡大など、成長に向けた布石を打つことが出来たことに加え、特に最終年度の 2015 年度は販売増および原材料・エネルギー価格の下落を受けた製造原価安などの要因により、中期計画目標利益を達成いたしました。当社グループのコア事業である国内包装容器事業の収益改善は途半ばにあり、今後さらなる構造改革の推進が必要であると認識しております。

2. 第四次中期経営計画の基本方針

前中期経営計画の課題を踏まえ、第四次にあたる本中期経営計画を、「Growing 2022」の達成に向けた「成長のための基盤固め」と改めて位置づけ、以下のとおり基本方針を策定いたしました。

- 持株会社体制を活かしたグループ戦略の立案と推進
- 国内包装容器事業を中心とした既存事業構造改革のさらなる推進
- 容器をコアとしたバリューチェーンにおける事業領域拡大の具体化
- 今後の成長投資に備えた資産・財務健全化の推進

3. 基本戦略の概要

<CSR経営>

「誠実で公正な事業活動を通して、人類の幸福繁栄に貢献しつづける」ことをグループCSR経営のビジョンに掲げ、すべてのステークホルダーに向き合いながら、引き続き「世界に信頼される東洋製罐グループブランド」の確立を目指します。

<グループ経営基盤>

持株会社体制を活かしたグループ経営における戦略的な事業意思決定およびグループ連携の推進を実行するとともに、今後の成長投資に備えて資産・財務の健全化を進めます。

<国内既存事業>

常に新しい価値を創造していくことにより顧客支持の獲得に注力するとともに、グループ内生産体制の合理化・省力化推進と、外部との業務提携等を通じた収益改善をさらに推し進め、持続性のある収益体質の確立を目指します。

<海外事業>

近年立ち上げた海外子会社の収益安定化を図るとともに、事業別・地域別戦略に基づいた適切な海外投資判断を企画・実行します。

<成長戦略>

設備製造技術と容器生産技術を融合した設備エンジニアリング事業など、当社グループの保有する技術を活用した容器周辺への事業領域拡大を推進するほか、将来に向けて研究開発を進めている、「ライフサイエンス・医療」、「電気電子・情報通信・エネルギー」などの分野における新規事業の継続的な育成に取り組みます。

4. 数値目標

① 連結売上高・営業利益

| | 2015年度実績 | 2016年度計画 | 2017年度計画 | 2018年度計画 |
|-------|----------|----------|----------|----------|
| 売上高 | 8,020億円 | 7,700億円 | 8,000億円 | 8,200億円 |
| 営業利益 | 323億円 | 280億円 | 350億円 | 410億円 |
| 営業利益率 | 4.0% | 3.6% | 4.4% | 5.0% |

【セグメント別】

■包装容器関連事業

| | 2015年度実績 | 2016年度計画 | 2017年度計画 | 2018年度計画 |
|------|----------|----------|----------|----------|
| 売上高 | 6,836億円 | 6,480億円 | 6,670億円 | 6,780億円 |
| 営業利益 | 246億円 | 230億円 | 240億円 | 290億円 |

■鋼板関連事業

| | 2015年度実績 | 2016年度計画 | 2017年度計画 | 2018年度計画 |
|------|----------|----------|----------|----------|
| 売上高 | 544億円 | 520億円 | 530億円 | 550億円 |
| 営業利益 | 11億円 | 10億円 | 25億円 | 25億円 |

■機能材料関連事業

| | 2015年度実績 | 2016年度計画 | 2017年度計画 | 2018年度計画 |
|------|----------|----------|----------|----------|
| 売上高 | 384億円 | 360億円 | 400億円 | 430億円 |
| 営業利益 | 32億円 | 15億円 | 40億円 | 50億円 |

■不動産関連事業

| | 2015年度実績 | 2016年度計画 | 2017年度計画 | 2018年度計画 |
|------|----------|----------|----------|----------|
| 売上高 | 69億円 | 70億円 | 70億円 | 70億円 |
| 営業利益 | 41億円 | 45億円 | 45億円 | 45億円 |

■その他

| | 2015年度実績 | 2016年度計画 | 2017年度計画 | 2018年度計画 |
|------|----------|----------|----------|----------|
| 売上高 | 185億円 | 270億円 | 330億円 | 370億円 |
| 営業利益 | 11億円 | 10億円 | 20億円 | 20億円 |

※上記セグメント別の営業利益において調整額は除いている。

【国内・海外別】

■国内

| | 2015年度実績 | 2016年度計画 | 2017年度計画 | 2018年度計画 |
|------|----------|----------|----------|----------|
| 売上高 | 6,803億円 | 6,700億円 | 6,900億円 | 7,000億円 |
| 営業利益 | 255億円 | 240億円 | 280億円 | 320億円 |

■海外

| | 2015年度実績 | 2016年度計画 | 2017年度計画 | 2018年度計画 |
|------|----------|----------|----------|----------|
| 売上高 | 1,216億円 | 1,000億円 | 1,100億円 | 1,200億円 |
| 営業利益 | 68億円 | 40億円 | 70億円 | 90億円 |

② グループ投資計画

■投資総額（2016～2018年度累計） 1,400億円

③ ROE

■2018年度目標 4.0%

5. 株主還元・利益配分について

当社は、グループ全体の業績を向上させることにより、株主還元・利益配分を将来にわたり着実に増加させる努力を継続します。当社の株主還元・利益配分に関する方針は次のとおりです。

- ① 配当については、安定的かつ継続的に行うことを基本とし、「連結配当性向 20%以上」を基準とします。
- ② 内部留保については、中長期的な視点に立ち、財務の健全性を維持しつつ、将来の成長分野への投資に充当します。
- ③ 自己株式の取得については、財政状況や株式市況に応じて柔軟に実施します。

以上

※本資料で記載している業績目標ならびに将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。